2014/07/10 17:43:40 東総横浜＃小１　出力形態：縮小　縮小率：0.7024　N版
【確認刷り】
朝日新聞本紙東京本社　7月10日　（降版日：　7月10日）　１３版　２県神奈川全県
kmztm1510(0986143)

訪問リハビリ 日本一の県に

日々の生活や環境 よくしてあげたい

病気の後遺症などで退院後も身体が不自由な高齢者らが利用できる「訪問リハビリテーション」を普及させようと、県内の専門家たちが協議会を立ち上げた。団塊世代が75歳以上となる「2025年問題」に対応するには介護予防に携わる人材を増やすことが急務とされる中、リハビリ専門職の役割は大きい。連携して仲間を増やし、「訪問リハビリが日本一充実した県になること」を目指す。

専門家ら、連携へ協議会

協議する代表者たち＝海老名市河原口

追る2025ショック

4日夜、海老名市の介護老人保健施設「アゼリア」の会議室に、訪問リハビリに携わる理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）の代表ら6人が集まった。「神奈川県訪問リハビリテーション協議会」の事業運営会議。同施設に勤める県理学療法士会理事の相川浩一さん(40)が会長として進行役を務め、県作業療法士会理事の木村修介さん(35)、県言語聴覚士会理事の船橋庄司さん(41)＝ともに協議会副会長＝らと意見や案を出し合う。

■リハビリテーション専門職の主な役割
理学療法士（PT、1965年～）
　立つ、歩くなど、身体の基本動作の機能改善
作業療法士（OT、1965年～）
　身体・精神に障害のある人の生活行為の改善
言語聴覚士（ST、1997年～）
　言語や飲み込みに障害がある人の機能の改善
（注）カッコ内は略称と、国家資格認定年

まず仲間づくり

今年4月に設立された協議会のメンバーは現在、委員8人を含め45人。行政や関係団体への設立報告を終え、互いの連携強化や仲間づくりを目指して本格的に活動を始めたところだ。

「PT、OT、STと言っても、まだピンとこない人は多いかもしれません」と相川さん。Pはフィジカル、Oはオキュペーショナル、Sはスピーチの頭文字でそれぞれの専門領域を指す。共通のTはセラピスト（Therapist）。

だが、利用者の多くがこうした職種ではなく「訪問リハビリをお願いします」とだけ、ケアマネジャーらを通じて依頼してくる。県内の訪問リハビリ従事者は3職種を合わせてもまだ3000人ほど。有資格者はPTが約5千人（全国計約10万人）、OTが約2千人（同6万人）、STが約700人（同2万人）いるとされるが、8割以上が病院勤務で、在宅医療や介護に携わる人は数%足らず。職種を指定されても応じることのできない事業所が多い現状が背景にはある。

助言しあう態勢

協議会がまず目指すのは訪問を行うPT、OT、STが、利用者のニーズに応じて互いに仲間を紹介し合い、アドバイスを求め合うことのできるようなネットワークづくり。「訪問リハビリの従事者数も日本一を目指すが、当面は協力し合うことで質を高めていきたい」と相川さんは語る。

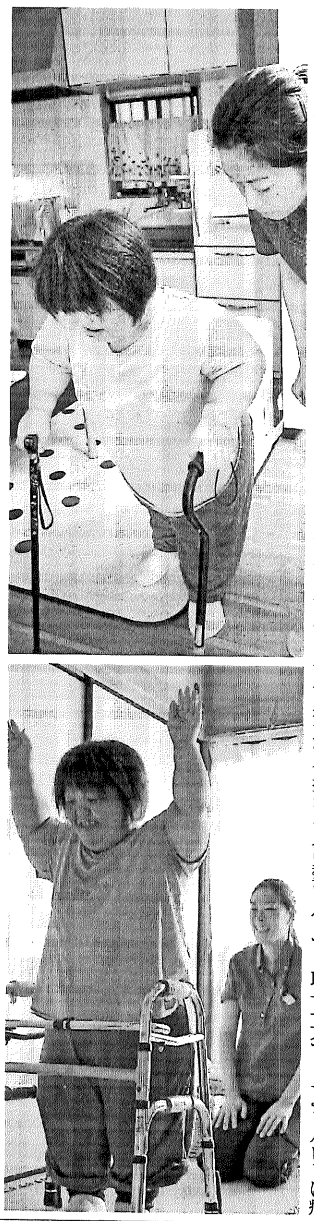
欧米には古くからあった「リハビリテーション」の発想が国内で認知されたのは、PTやOTの資格制度ができた1965年以降。神奈川県はその重要性にいち早く着目し、70年代には他県に先がけてリハビリ専門病院を開設したことなどで「リハビリ先進県」と評されてきた。だが一方で、「『リハビリは病院で行うもの』という意識が専門職を志す学生たちにも強く、訪問の分野では逆に後れをとっているのを実感します」と木村さんは話す。

協議会設立に先立ち、代表者たちは4年前から訪問リハビリを志す人向けの実務者研修会を合同で催すなどの活動を続けてきた。これまでに計331人（PT198、OT98、ST35）が研修会を受講。船橋さんは「利用者の心身の機能回復にとどまらず、日々の生活や環境全体がよくなるように手助けできるのが訪問リハビリの醍醐味。その魅力を知ってもらえば志す人は増えるはず」と語る。

協議会委員の一人でPTの久保木あずみさん(47)も「病院勤務に比べると孤独で不安という訪問業務のイメージも、仲間が増えて相談し合える体制が整えば変わります」。実際、訪問を希望する若手が増えつつあるのを感じるという。

協議会の発足を行政も歓迎している。県保健福祉局の小島誉寿・企画調整担当課長（前高齢社会課長）は「訪問リハビリは、高齢者らの自立支援に向けたこれからの介護サービスの要。その担い手たちが主導的に動き始めた意味は大きい」と期待を込める。

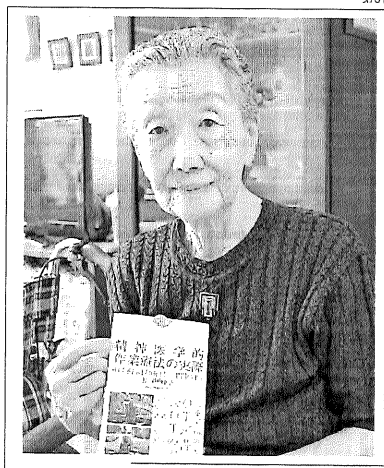
（杉山圭子）



上 訪問先で歩行練習を指導する理学療法士(右)。必要以上の力添えはせず、利用者の残存能力を最大限に活用しながら自立や生活改善を支援する
下 立ってバランスをとる練習を繰り返す。訪問リハビリでは、日常の生活空間で、各部屋の構造などに合わせた動きが獲得できる＝いずれも横浜市都筑区

「ひと言」で心つながる

日本初の作業療法士・長谷川峰子さん



「日本人初のOT（作業療法士）」が県内にいる。長谷川峰子さん(85)＝横浜市鶴見区。約60年前、米国で学んだ作業療法を国内各地で広めた。6月にアジアで初めて開かれた第16回世界作業療法士連盟大会（横浜市）にも招かれて参加した長谷川さんは「心を病む人が増え続ける今、OTの役割は大きい。活躍し社会を元気にしてほしい」と後進にエールを送る。

長谷川さんが作業療法と出会ったのは、札幌の米軍病院で通訳兼助手として働き始めた18歳の時。日本にはまだ資格制度がなかったが「米国では約10年前（1935年）から養成校もでき、OTは各地の病院で欠かせない存在でした」。

自身も22歳で米国へ留学。アイオワ州立精神病院でインターンとして勤めた。関わった患者は統合失調症、アルコール依存症の人など約60人。眼光鋭い大柄な男性患者が現れた時などは「怖くない？」と周囲からよく心配されたが「なんとか社会復帰してほしいと心から願って相手と対話を重ね、ひとたび心のつながりができれば何も怖くない。様々な国や民族の患者と接する中で実感したことは今も私の信条です」。

「相手を思いやる心がリハビリの原点」と語る長谷川峰子さん＝横浜市鶴見区

絵画や手工芸などを通じて心身を回復させ、社会復帰へ導く作業療法を、長谷川さんは帰国後、各地で実践。県内では県立芹香院（現精神医療センター）、県立せりがや園、大和病院に勤めた。国内外での体験をつづった自著「精神医学的作業療法の実際」（1969年）は2年前に復刻版が出版され、現在も多くの関係者に読まれている。

今、認知症患者が国内に約800万人（予備軍含む）といったニュースに接するたび「こうなる前に打つ手はあったはずなのに」とやり切れない思いになるという長谷川さん。「認知機能は、刺激がないまま日々を送ると衰えていく。例えば食事を提供したあとに『これお好きですか？』とひと声かけるだけで相手の心は刺激され、心のつながりも生まれる。リハビリ専門職に限らず、介護に携わる人すべてに知ってほしいですね」（杉山圭子）

君よ輝け 音色に願いを込め

6校吹奏楽部員 開会式で演奏

第96回 全国高校野球選手権 神奈川大会
主催／朝日新聞社・県高野連

開会式の行進曲を練習する横浜緑ケ丘の吹奏楽部員。6校合同で練習するのは当日の朝だという＝横浜市中区

12日に開幕する第96回全国高校野球選手権神奈川大会。開会式で行進曲などを演奏するのは向上、桜丘、東海大相模、三浦学苑、横浜商、横浜緑ケ丘の6校の吹奏楽部員、約600人だ。球児の夏の始まりを晴れやかな音で彩る。

横浜緑ケ丘は、昨夏の吹奏楽コンクールで東関東大会に出場した実力校だ。開会式では、部員105人のうち1、2年生を中心に約50人が演奏。いつもと違う舞台を楽しみにしている。

部長の岩崎良平さん（2年、トロンボーン）は「神奈川は高校野球の激戦区。演奏できるのは光栄」と話す。昨夏は自校の野球部の応援で、スタンドで演奏した。あまりスポーツを見たことがなかったが、同じ学校の生徒が一心に試合に臨む姿を見るだけで楽しく、甲子園もテレビ観戦した。屋外での演奏は「音が届きにくいので、しっかり演奏しないと。自分もテンションが上がると思うが、音程に気をつけて楽しく吹きたい」と言う。

副部長の山崎優香さん（2年、ホルン）は同じクラスに野球部員がいる。毎日毎日練習し、クラスでも野球のことばかり話していて、野球に懸けているように見える。「私は涙もろいので、クラスの子が試合で得点したら泣いちゃいそう」と山崎さん。吹奏楽部も現在、7月末のコンクールに向け、朝も昼休みも練習に励んでいる。「野球も吹奏楽も夏に懸けているのは同じ。当日は、頑張ってね、という気持ちが伝わるような演奏をしたい」（神宮桃子）

工場見学 座間 046-255-2131（10日）厚木市立依知南小5年84人（引率・谷口尚史先生）

登録選手の変更 県高野連が発表

県高野連は12日開幕の神奈川大会の登録選手の変更を発表した。新たに登録された選手は次の通り。（学校名、名前、学年）

【生田】山下秀俊③【川崎北】木村祐也③、森拳②【生田東】鏡味平②【菅】平野将寿①、中村亮介①【麻生】草刈雅彦①【向の岡工】矢野颯馬①、五郎川歩①【市川崎】石渡大誠①【法政二】井上祐輝②【相模光陵】小川勇士③、大河原誠①【瀬谷】斉藤虎太朗①【横浜清陵総合】篠原誠真②、今井涼介②【城郷】野村海斗②【県商工】磯部大雅①【桜丘】笠間渉②【戸塚】上田健介③【横浜商】山口博史③、立石航己③、大江天下龍②【浅野】脇田祐太②【武相】山田真登③、関口匡③、秦遊太郎③、赤尾魁士③【慶応】村井悠紀③、山本優③、水久保佳幸①【関東六浦】酒井洋輝①【柏陵学園】田中真広③、古市良徳③【横浜】申屋令①【横浜創学館】松岡賢祐③、荒井貴登③【川手学院】富武舜③、西島太郎②【横浜隼人】相沢泰我②、神波多②、大堀純一②、石川純弥②【サレジオ学院】山川晃汰②、野口裕貴①【茅ケ崎】土屋翔伍②【茅ケ崎北陵】飯森涼太②【鎌倉】生方彰徳②、吉野遊①【湘南】馬込航②、笠原健吾①【茅ケ崎西浜】杉山嵩弥③、相原晴周③【湘南台】古岡崇①、瓜生尚樹①【藤沢工科】榎本光宏①、小島恭平②【藤嶺藤沢】服部佑太朗③【藤沢翔陵】鈴木健右③、本間雄大③【日大藤沢】佐藤成③、小川幸祐③【湘南工大付】篠原怜③、徳山山②【アレセイア】安斉洋樹②、河崎元輝②【逗子】渋谷諒②、宮本健吾①【三浦臨海】酒井雄生③、坂田修太朗③、細田良寛③【海洋科学】松元颯①、浜田翼①【三浦学苑】渋谷正洋②【秦野】高瀬智司②、藤田純也②【津久井】大塚悠社②、伊藤慎哉②【相模原】野下卓泰②【座間】横田智宏③【上鶴間】渡辺理応①【綾瀬】関本悟①、扇大輔②【秦野総合】榎本大輝①、坂間秀弥①、高橋拓也③【座間総合】根本翔大①【上溝】遠山翔大①【弥栄】伊藤優希②【東海大相模】藪田裕貴③、帯川健太②、園田将人③【向上】向山佳太③、真壁貴吾③【光明相模原】平林竜哉②【麻布大附】溝ノ樹②、安島達斗①【相武台】加登将吾①【小田原】小堀優佑②【西湘】大島将栄①【高部】井口優斗①、早川友貴②【平塚江南】会津東吾③【相洋】川島賢弥③、川瀬裕幸③【立花学園】小林隆生③、有賀純也③【平塚学園】高田孝一①、高田雅哉③、倉岡生来②【星槎国際】川村崇徹①、岡野翔②

紙面サイズ：OK
広告掲載：OK